

平成22年度第2次札幌新まちづくり計画事業進行調書(その2)

施策体系コード	1-1-3			事業名	企業・団体と連携した子育て支援事業		
達成目標の状況							
項目	18年度末 (現状)	19年度末 (実績)	20年度末 (実績)	21年度末 (実績)	22年度末 (予定)	22年度末 (目標)	
企業との連携事業実施回数	－	年15回	年8回	年12回	年12回	年5回	
絵本寄贈数(累計)	－	－	1,099冊	1,415冊	未定	1,000冊	
市民・企業等との協働の状況(市民・企業等の参加、支援、協力の状況)							
<p>■市民との連携、市民参加 企業・団体や市民が絵本を寄贈することで子育て支援の環境づくりに参加しており、また、動物園においても、企業・団体と札幌市が協働で子育て支援事業に取り組んでいる。</p> <p>■企業等との連携・協働 [資金協力] 実質的な主体となる企業、団体等の資金力が最大限活用され、最低限の事業費の投入で円滑な事業展開ができる。 [人材協力] 実質的な主体となる企業、団体等の労力が最大限活用され、子育て支援を展開できる。 [情報協力] 民間の持つ情報発信ルートを活用することで子育て支援の情報の広がりが期待される。 [その他の協力] 活動の場の広がりなど民間の自由な発想や事業展開が可能となる。</p> <p>■市民・企業等が参加しやすい環境づくり 休日に行われる動物園のイベントなど、市民が参加しやすい工夫がされている。</p>							
評価(成果)			課題				
<p>企業や団体、市民の協賛により絵本の寄贈を受けることで、子育てに対する市民意識が高まるとともに、寄贈された絵本が子育て支援施設に配架されることにより、子どもが絵本とふれあう機会が増え、想像力豊かな子どもを育てることにつながっている。また、民間団体と事業展開することによって、最少の経費でより大きな成果をあげることに寄与している。</p>			<p>最少の経費で最大の効果をあげるという観点からも、企業・団体との連携強化に取り組むことは大きな意義があり、今後はより多様化する市民ニーズに対応するためにも、企業の社会貢献メニューの開拓を検討する必要がある。</p>				
今後の事業の予定・方向							
<p>絵本の寄贈やイベント開催によって得られた子育て支援に対する市民意識の高まりを、もれなく市政へ反映することができるよう、子育て支援に貢献したい企業・団体や市民の受け皿的な役割を担い、限られた財源の中で効果的に子育て支援事業を進めるには、市民ボランティアを含めて社会全体が協働で取り組むことができる新たな事業の展開を検討する。</p>							

平成22年度第2次札幌新まちづくり計画事業進行調書(その3) (単位:千円)

施策体系コード		1-1-3			事業名	企業・団体と連携した子育て支援事業				
事業費の推移										
項目		19年度	20年度	21年度	22年度	計				
計画	事業費	—	—	—	—	—				
	財源内訳									
	国・道支出金									
	市の債									
予算	事業費	0	8,585	8,444	0	9,029				
	財源内訳									
	国・道支出金	0	8,000	8,000	0	8,000				
	市の債	0	0	0	0	0				
実績	事業費	0	67	8,120	—	8,187				
	財源内訳									
	国・道支出金	0	0	6,100		6,100				
	市の債	0	0	0		0				
事業費の進捗率		(H19実績+H20実績+H21実績+H22予算事業費) / (計画事業費)					—			
計画との差異(予算・実績・事業内容・規模・時期等)										
《全体》										
[19年度] さっぽろ食と子育て推進事業は一定の成果があげられたこと、及び札幌市の食育推進計画がスタートしたことにより、年度末で終了										
[20年度] チラシ作製などを当初予算に計上。また、国の緊急経済対策における補正予算により、子育て支援施設に対する絵本蔵書充実のための予算(800万円全額特定財源)を計上し、執行は平成21年度に繰り越した。										
[21年度] ※予算の計には、20年度から21年度への繰越分(8,000千円)を含まない。										
[22年度]										